

I 急病のときの対応

12. 虫にさされたとき(特にハチ)

家庭での処置

虫に刺されたときには、まず、針が残っていないかを調べ、残っていれば、爪かナイフでこすり取るか、又は、ピンセットなどではさんで抜き取る。(強くつかみすぎると毒を押し込むことがあるので注意する。)

その後は、患部を水で流し、冷やして、腫れやかゆさなどが楽になれば様子を見る。

その後の対応



家庭で経過をみる、又は翌日に病院受診

痛みがやわらぎ元気である。



その時点で病院受診

痛みが強く続く。じんましんなどの症状が出る。スズメバチなど毒性の強いハチに刺された。



緊急に病院受診、救急車要請

呼吸困難やショック症状(顔色が青白い、冷や汗がでる、意識がない)がある。

家庭で看る時のポイント

あればステロイド軟膏、抗ヒスタミン軟膏、市販の虫さされ薬などを良くすり込んでおきます。翌日も改善が乏しければ皮膚科を受診しましょう。

蜂刺されにアンモニアなどの処置は効果がありません。

蚊などでは何カ所も刺されていても、元気であれば様子を見ます。